

平成21年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

1項 商業費

2目 商業振興費

経済・雇用政策総室（内線：7890）→事業実施：経済通商総室  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起 債	そ の 他	一般財源	
(新)鳥取県版「経済成長戦略」策定事業	15,330	0	15,330				15,330	
トータルコスト	25,272千円（前年度 0千円）							
従事する職員数	正職員：1.2人							
主な業務内容	マクロ経済分析、各種産業分野の分析、戦略等の構築、既存施策の評価分析 施策のスクラップ&ビルド							

事業内容の説明

1 事業の概要

持続可能な経済成長を実現するために必要な中長期的な経済成長戦略を策定する。県経済団体、業界団体等からなる鳥取県経済成長戦略会議（仮称）を組織し、戦略的に推進する産業分野を検討するほか、産業振興施策の構築を図る。

（目的）

- 本県の目指すべき姿を示した「将来ビジョン」を進めるため、中長期的な経済成長に向けた具体的なアクションプランの構築が必要。
- 本県経済の現況は、一部の集積している既存産業の不振により県経済に大きく影響しており、新たな成長が見込まれる産業の振興策などバランスのとれた産業構造への転換も必要。

⇒「鳥取県地域産業活性化基本計画」、「バイオ産業集積構想」など既存の産業集積構想を取り込みながら策定。

※戦略的に推進する産業分野（想定例）：バイオ関連産業、健康関連産業、コミュニティービジネスなど

2 事業内容

（1）鳥取県経済成長戦略会議（仮称）の開催

鳥取県経済成長戦略（仮称）の策定にあたり、産業界の実情を反映しながら中長期的で、効果的かつ実効性のある施策を検討するため本戦略会議を開催。

（2）シンクタンクへの分析業務等委託

戦略的に推進すべき産業の決定、及びアクションプランの策定には、経済分析、全国の産業施策に関する情報等について専門的知識を有する者の能力が必要なため、シンクタンクに分析業務等を委託。

- 「鳥取県経済成長戦略会議」の開催経費 336千円（3回開催）
- シンクタンクへの委託料 14,539千円
- 企画コンペ費用 455千円

3 戦略構築の作業内容

産業構造や産業連関といった構造分析により基本となる戦略を構築し、各産業分野の調査・分析に基づいて基本戦略を推進するための具体的なアクションプランを策定。

戦略策定のフロー

【マクロ経済分析】

- ・県内GDP分析 ⇒ 産業構造の把握、近隣県との比較
- ・産業連関分析 ⇒ 県内及び県外との資金循環分析

【ミクロ分析】

- ・各産業の労働生産性調査分析
- ・次世代産業分野（バイオなど）の発展可能性調査分析
- ・内需型産業（コミュニティービジネスなど）の発展可能性調査
- ・集積産業の課題分析など

戦略的に推進する産業分野の設定

- 産業分野別のアクションプランの策定
- アクションプランに基づく具体的施策の構築